



2024年1月25日

日本鉄道労働組合連合会

岡山県と交通政策に関する意見交換を実施！

J R 連 合 は 1 月 17 日、J R 西 労 組 と ともに岡山県を訪問し、交通政策に関する意見交換を実施した。J R 連 合 か ら は 宮 野 勇 馬 企 画 局 長、石 川 敏 也 産 業 政 策 局 長 が、J R 西 労 組 か ら は 上 村 良 成 中 央 執 行 委 員 長（J R 連 合 副 会 長）、羽 野 敦 之 書 記 長（J R 連 合 執 行 委 員）、



田 中 佑 佳 政 策 調 査 部 長、堂 屋 敷 光 岡 山 地 本 委 員 長、今 井 新 市 同 書 記 長 が 出 席 し た ほ か、実 施 に あ た り ご 尽 力 を 賜 っ た 高 原 俊 彦 岡 山 県 議 会 議 員 に も 同 席 い た だ い た。

冒 頭、代 表 し て 挨拶 に 立 っ た 上 村 委 員 長 は、令 和 6 年 能 登 半 島 地 震 に よ る 鉄 道 へ の 被災 状 況 や 北 陸 新 幹 線 敦 賀 開 業 に 触 れ た の ち、「様 々 な 自 治 体 を 訪 問 し、労 働 組 合 と し て 実 現 し た い 政 策 に つ い て 意 見 交 換 を 行 っ て い る。持 続 可 能 な 交 通 体 系 を ど う 構 築 す る か、官 民 パ ー ト ナ ー シ ッ プ の あ り 方 に つ い て 議 論 し た い」と 述 べ、獣 害 や 設 備 の 老 朽 化、防 災 ・ 減 災 対 策 の 必 要 性 に つ い て 課 題 提 起 を 行 っ た。

岡 山 県 か ら は、上 坊 勝 則 副 知 事 を は じ め、県 交 通 部 門 の 幹 部 が 出 席 し、上 坊 副 知 事 か ら は「岡 山 県 内 全 土 に J R の 路 線 が 張 り 巡 ら さ れ て お り、交 通 体 系 の 骨 格 を 成 し て い る。通 勤 ・ 通 学 や 通 院 の ほ か、観 光 に お い て も 鉄 道 は 有 用 な 手 段 で あ り、鉄 道 に 関 す る 課 題 は 県 政 の 最 重 要 課 題。利 用 促 進 に ど う 取 り 組 む か 議 論 し た い」と の 挨拶 を 受 け た。



そ の 後、J R 連 合 宮 野 局 長、石 川 局 長 よ り、J R 各 社 を 取 り 巻 く 情 勢、J R 連 合 の 取 り 組 み や 政 策 課 題 等 に つ い て 説 明 を 行 っ た。特 に、J R 連 合 が 策 定 し た 『チ ー ム 地 域 共 創』を つ く る 9 提 言「持 続 可 能 な 地 域 公 共 交 通 を つ く る J R 連 合 政 策 提 言」で 訴 え た 「チ ー ム 地 域 共 創」の 考 え 方 が、昨 年 10 月 に 全 面 施 行 さ れ

た 改 正 地 域 交 通 法 の 趣 旨 に「地 域 の 関 係 者 の 連 携 ・ 共 同 = 『共 創』に よ り、地 域 公 共 交 通 ネットワークを再構築する」という形で反映されていることを強調した。

説 明 を 受 け、岡 山 県 か ら は、「鉄 道 特 性」の 発 揮 に 対 す る 考 え 方 や 利 便 性 向 上 に よ る 県 内 路 線 の 更 な る 活 性 化、I C カ ー ド の 利 用 範 囲 拡 大 に 係 る 考 え な ど が 示 さ れ、出 席 者 は 他 線 区 で の 参 考 事 例 や 支 援 施 策 の 活 用 等 に つ い て 意 見 を 交 わ し た。

改 正 地 域 交 通 法 施 行 後、全 国 初 の 事 例 と し て、芸 備 線 備 中 神 代 駅 ~ 備 後 庄 原 駅 を 対 象 と し た 再 構 築 協 議 会 の 設 置 が 決 定 し て い る。岡 山 県 も 構 成 員 と し て 参 画 し て お り、今 回 の 自 治 体 訪 問 は、持 続 可 能 な 地 方 公 共 交 通 の 実 現 に む け て、J R 連 合 の 取 り 組 み や 考 え を 伝 え る 重 要 な 機 会 と な っ た。

J R 連 合 は 今 回 得 た 知 見 や 情 報 を 政 策 活 動 に 反 映 さ せ る と 同 じ く、今 後 も 課 題 の 解 決 に 向 け あ ら ゆ る 関 係 者 の 理 解 と 協 力 を 求 め、「チ ー ム 地 域 共 創」を 形 成 す る べ く、関 係 機 関 と の 対 話 を 積 極 的 に 行 っ て い く。